

本年度4月より白岡地区担当となりました戸ヶ崎です。中部地区（蓮田地区、白岡地区、宮代地区）は、4月より「中部営農経済センター」として統合し新たなスタートを切りました。

今回私からは、水稻の品質向上について情報をお伝えします。

品質の低下は、白未熟粒が原因とされております。白未熟粒とは、玄米にデンプンがきっちり詰まらず、隙間ができた状態です。これらには、乳白・腹白・背白・基部未熟等があります。白未熟粒により品質の低下、また精米やとぐ時に割れやすくなり、食味の低下にも繋がります。乳白粒、心白粒は高温になって養分の転流が悪くなると発生し、粳数を付けすぎると穂の中で養分の取り合いとなり多発します。高温時対策として、ケイ酸で稲体の温度を下げましょう。

ケイ酸の効果ですが、茎や葉に蓄積し葉の直立化を図り、光合成の促進になり、それにより十分に稲が養分を吸収することで収量及び食味向上に繋がるということです。また、ケイ酸を入れることで根張りも良くなり倒伏軽減にも繋がります。稲はそのケイ酸を幼穂形成期以降に多く吸収し、ケイ酸はクーラーのような働きをします。

資材として「農力アップ」「ウォーターシリカ」を紹介させていただきます。

「農力アップ」は、微量元素も含んでおり鉄・マンガンの効果により有害で根を痛めるメタンガスや硫化水素ガスの抑制効果も併せ持っています。施肥時期ですが、収穫後から代掻きの二週間前までに10アール当たり60kg施肥となります。

「ウォーターシリカ」は、出穂前30日頃に10アール当たり15～20kg施肥となります。

ケイ酸資材にご興味を持たれましたら、ぜひお近くの各地区営農経済センターまたは担当地区TAC（タック）までお気軽にお問い合わせください。

これからも組合員の為に色々な情報提供が出来るよう努力して参りますので、今後とも宜しくお願いします。

成分	窒素	リン酸	ケイ酸	硫酸	亜鉛	鉄	マンガン
農力アップ	22.5	12.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
ウォーターシリカ	22.5	12.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5

※ケイ酸含有量が異なるため、施肥量や施肥時期によって、効果が異なります。また、土壌のpH値によって、効果が異なります。  
 ※成分：(g/kg)

問い合わせ先：JAFグループ 製造：農業振興局